

# ひらくびつかん

## HIRATSUKA CITY MUSEUM

### '83 9月号

教育普及活動の紹介 15

#### Summer seminar

平塚市では、昨年4月に、天城湯ヶ島町（静岡県）と「市民休養の郷」協定を結びました。

今年のサマーセミナーは、この天城湯ヶ島町の大川端キャンプ場をベースにして、8月9日から11日まで行われました。市内の小・中学生39名が参加して、天体観測、交流会、自然観察ハイク、昭和の森見学などを行いました。

交流会では、地元の小学生42名が参加し、お互いの「まち」の紹介や記念品の交換などを行い、合同の天体観測も行いました。

（4ページへつづく）

#### 【参加した人たちの感想文】

▶ 塩島尚子さん 岡崎小6年

八丁池の山のぼりに行った時、黒曜石や木の名前、ぶなの実などひろったり聞いたりしてとてもためになつた。それにモリアオガエルのことも先生方におしえてもらつた。

のぼりは、途中で木がたおれているのをよじのぼって、とんだり、くぐつたり・・・。くだりは、急ながけをゆうきをだしてわたったりで、とてもいい思い出になりました。

それに、10kmを6時間くらいで歩いたので、だいぶ強くなつたと思います。

ローカル紙に紹介された記事

平塚市のサマーセミナーは、自然観察を中心に行なわれた。天城湯ヶ島町と休養の協定を締結した。天城湯ヶ島町では、天体観測を中心とした活動が主催され、天城湯ヶ島町と連携して、天体観測会を行なった。天城湯ヶ島町では、天体観測会の開催が決まり、天城湯ヶ島町の子供たちが天体観測会を開催する予定だ。

（伊豆日日新聞）

近隣市町から約百人



#### 天体観測など楽しむ

天城湯ヶ島町の「休養の郷」のご縁で

## 平塚の子どもたちと交歓

伊豆日日新聞

伊豆日日新聞  
伊豆郡大仁町田原  
郵便番号411  
電話代表0558

田方郡大仁町御門六五の三  
四〇五五八〇七六一五五三

天城湯ヶ島町と休養の協定を締結した。天城湯ヶ島町では、天体観測会を行なった。天城湯ヶ島町の子供たちが天体観測会を開催する予定だ。

（伊豆日日新聞）



## 9月の行事

1	木	
2	金	
3	土	プラネタリウム、古文書講読会 土曜観察会「高麗山の季節ごよみ」
4	日	プラネタリウム、自然観察会「真鶴、 岩海岸を訪ねて」
5	月	(休館日)
6	火	
7	水	
8	木	デッサン教室
9	金	#
10	土	プラネタリウム、石仏を調べる会
11	日	プラネタリウム
12	月	(休館日)
13	火	
14	水	
15	木	(敬老の日・休館日)
16	金	
17	土	プラネタリウム、古文書講読会
18	日	プラネタリウム、地層観察会「化石 を調べる」
19	月	(休館日)
20	火	体験学習「画集を作ろう」
21	水	
22	木	星を見る会「月を見よう」
23	金	(秋分の日・休館日)
24	土	プラネタリウム、土曜観察会「高麗 山の季節ごよみ」
25	日	プラネタリウム
26	月	(休館日)
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	(月末休館日)

\* 9、10月のプラネタリウムは、「月・  
今昔」をテーマに投影します。



あなたも参加してみませんか

### ●星を見る会「月を見よう」

会が始まるころ、東の空に満月が昇ります。望遠鏡を使ってその表面を観察します。

日時 9月22日(木) 18~20時

場所 博物館科学教室

参加自由。当日博物館科学教室にお集まり下さい。



### ●土曜観察会「自然の新聞を作ろう」

野外で自然観察したことを、文章とスケッチで記事にし、新聞の形式でまとめます。

日時 原則として毎月の第2、4土曜日

14~17時

場所 高麗山、金目川、相模川など

申し込み 参加希望者は、返信用の封書に住所  
氏名を明記し、60円切手をはったもの  
を同封の上、博物館まで申し込んで下さ  
い。折り返し、日程表と参加のしおりを  
お送りします。なお、日程表と参加のし  
おりは、博物館の受付でも配布してお  
ります。

### ●特別展「現代日本画展」

現代日本画を中心に、山本丘人・岩橋英遠・堀  
文子・近藤弘明など優れた作家11名の作品を紹  
介します。

期間 昭和58年10月1日から14日まで

会場 平塚市博物館特別展示室

入場 無料

### ●寄贈品コーナー

館内の寄贈品コーナーでは、「中原上宿遺跡展」  
を行っています。9月18日まで。

9月20日から10月30日までは、「サマー  
セミナーの想い出」展を行います。

### 休館日のお知らせ

毎週月曜日、祝日、月末日、10月11日

# 平塚なうまんぞう物語

## 3 ナウマンゾウとは

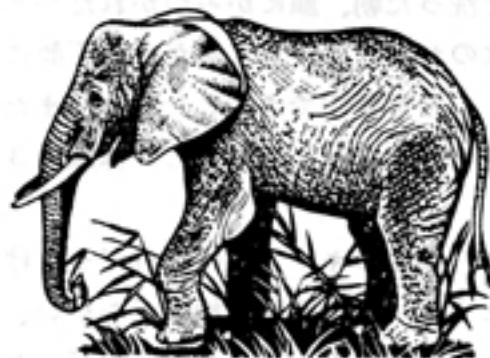
ゾウは分類学上哺乳動物の中で長鼻類というグループに含まれ、約3500万年前（地質時代では第三紀漸新世）にその先祖が誕生し、現在で約340種もの種類の化石が知られている。うち、現存するアジア象やアフリカ象、日本から数多く化石として産出するナウマン象及び北系のマンモス象はゾウ科（エレファス科）に属している。

エレファス科は約500万年前（鮮新世初め）になって草原やサバンナが発達したことにより、これまで森林に生活していた古い象にかわって分し、約300～10万年前（鮮新世末から更新後期）にかけて、ユーラシアから北アメリカに大発展した。すなわち地質時代の第四紀（約00万年前～現在まで）に入ると、地球上は寒温帯、暖帶の気候帯が明瞭となり、異なった方に応じて、エレファス科の仲間はマンモス系（寒帶・乾燥）、バレオロクソドン系（温～帶・湿潤）、エレファス系（暖帶・湿潤）、クソドンタ系（温～暖帶・乾燥）に分化した。現存するアジア象はエレファス系であり、アリカ象はロクソドンタ系の象である。従ってアジア象とアフリカ象とは同じ象でも形態も生息場所も異なっている。形態上の違いとしては、アジア象では耳が小さく、ひたいは平らで頭のてんが高く、イボ状の突起が見られ、背中が水であるのに対し、アフリカ象では耳が大きく、といは出っぱり、背中は腰に向って低くなる。各はアフリカ象の方が大きく、体高（肩までの高さ）3～4m、体重5～7.5tに達する。

一方、今回産出したナウマン象はバレオロクソノ系に属し、中国北部から日本にかけての温帯に生息し、日本では30万年前（更新世中期から1.6万年前（更新世後期末）まで、東道から九州に亘って広く分布していたことがされている。日本列島のナウマン象は30万年前、中国大陆の北部とつながっていた時期（河時代の寒冷な時期）に渡来し、それまで日本



アジア象(パートンより)



アフリカ象(パートンより)

亀井（1978）より

に生息していた東洋象にかわって15万年前以降（更新世後期）に大発展した。ナウマン象は同じバレオロクソドン系統の象でも、インドのナルバダ象やヨーロッパのアンチクウス象とは異なり、比較的小型（アジア象と同じ位で、肩の高さ2.5～3m、体重5t程度）で、森林生活者であったといわれる。

ナウマン象の名は、ドイツ人のエドモント・ナウマンに由来している。明治の初めに日本にきたナウマンは、横須賀の白山（しらそまやま）産の象化石をインドで発見されていたナルバタ象と同じものとして報告した。その後、1921年に静岡県浜松の北西にある佐浜で象の下顎骨と歯および上顎臼歯が発見された。この化石を研究した京都大学の横山次郎博士は、日本でナルバダ象といわれているものには2種類認められるとして、佐浜のものにナウマンの業績に敬意を表して、ナウマンニという亜種名を与えた。これがナウマン象の名の由来である。この佐浜の標本がナウマン象の模式標本である。

現在ではナウマン象はナルバダ象とも異なった種として扱い、学名をバレオロクソドン・ナウマンニと呼ぶ。

（学芸員・森慎一）

## ■ 教育普及活動の紹介 ■

(1ページよりつづく)

### ▶ 井沢俊樹君 金田小6年

ぼくにとって一生の思い出になるセミナーだった。

中学生のお兄さんお姉さんと泣きながら作ったご飯。とてもおいしかった食事、怪談を聞かされふるえながら寝袋の中にもぐった夜のこと、川の水で顔を洗った朝、顔にかみつかれたかと思うほどの冷水のおどろき、鳥に導かれ八丁池に登り、めずらしい石を夢中でさがしたこと、また、登山の苦しさ・・・など、すばらしい体験の3日間だった。

今まで、ぼくのキャンプは2日だったけれど、今度のセミナーのように、地域がちがい、学年もちがう人と博物館の人につれられて行った経験は、ぼくに自信を与えてくれました。



### ▶ 新藤幾子さん 大野中1年

私のサマーセミナーの一番の思い出は、テントの中で寝ぶくろにくるまってねたことです。他にもいろいろありますが、大部分の事が初めてだったので印象に残りました。テントはなかなか難かしく、あまりうまくできなかつたけれど、夜になるとなんなく、ああ、これがテントなんだなあ・・・なんて思つたりして感激してしまいました。寝ぶくろなんかひろげたしゅんかん「いもむし」を想像してしまった。とても暑かったです。

忘れていましたけれど、キャンプファイヤーでのスタンツ、はじをかいたような気がします。なぜか私は、「ミックス物語」の「桃太郎」!登場するところをオーバーにやつたら、後で、みんなに笑われてしまいました。でもそんなことでも良い思い出になりました。できれば来年も申し込もうと思っています。(ブヨにさされなければ)



### ▶ 高橋幸伸君 江陽中1年

(楽しかったこと)各班で考えてやつたキャンプファイヤーのだしもの バスの中でやつたゲーム テントの中で友達と遊んだこと(夜) 湯ヶ島の小学5年生と交流会をしたこと 昭和の森会館でバスをまつてての間遊んだこと

(苦しかったこと)自分たちではんごうをたいしているとき、目がいたかったこと 八丁池まで行くのがつかれた、でもついたときはうれしかつた

(うれしかったこと)ほかの学校の友達やボランティアの人と友達になれたこと 自分たちがたいたはんごうがうまくつくれたこと



### ▶ 鈴木 茂君 金旭中3年

(一番よく出来た事)班長さんをやって、いがいと班をまとめる事が出来た事と、小林君が手つだってくれたせいもあってか、ご飯がこげなかつたことである。それがもう、うれしいのなんのつて、いつもキャンプっていうと、一回は食べなければいけないおこげが出来なかつたけれど、少しお米がこわかつた。But、上出来、very good!

また来年も行きたいけれど、中3だから、行けませんのですわ。これからは、いろいろな行事に出たいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

#### 受入寄贈資料

6. 1 クルリ 平塚市豊田本郷 1,544

大畠暉昌様

. 3 座くり 平塚市西八幡 1-9-22

土屋二三男様

. 8 イカヅノ、角チグなど 小田原市前川

580-2 石塚勝治様

. 28 クルリ、タモ 小田原市前川 580-

2 石塚勝治様

御協力を深く感謝いたします。